

**問** 祭りやイベントの再開に伴う感染対策に対し、力強い支援が必要では。

**答** 感染対策への支援の相談があった場合、状況を踏まえながら必要な支援を検討していく。

### 通学環境について

**問** 通学時の鳥獣対策について、自己防衛能力に乏しい子供たちの登下校時の安全を確保するためにさらなる対策が必要ではないか。

**答** 市内の全児童・生徒に熊よけ鈴を貸与し、積極的な利用を促している。

今年度は全小・中学校に熊専用の忌避剤を配付したほか、見通しの悪い場所の下刈りを行う緩衝帯整備や、熊被害対策講習会を実施している。

目撃情報など登下校に影響がある場合などは関係機関と連携し、児童・生徒の安全確保を図っている。

### 円安対応について

**問** 円安効果を市内に循環させる必要があると強く思うが、インバウンド観光振興について市の考えは。

**答** インバウンド観光については、近隣のDMOと連携しながら広域エリアでの受入準備を進めている。

ツアーを催行するエージェントへの助成を継続しながら、東北観光推進機構やJNTOの会員メリットを活かし、本市の魅力の発信を強化して誘客を図っていく。



栗山 尚記 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分

#### 質問した項目

- 八郎太郎三湖物語関連について
- 円安対応について
- 市の情報発信について
- 通学環境について
- 新型コロナウイルス感染対策について
- ゼロ・カーボンシティ宣言について



録画配信はこちらから

**問** 大湯地区のチャイムは、生活にリズムを与える効果がある。復活させる考えはないか。

**答** 地区住民が愛着を持っているチャイムであり、復活を求める声を大切にしながら、対応を進めていく。

### 移住コンシェルジュについて

**問** 情報発信や移住後のアドバイス業務などと別に、農林業に絞った地域おこし協力隊の募集計画はないか。

**答** 地域おこし協力隊制度の活用は、都市住民としての視点に加え、移住者としての視点を活かしたノウハウを地域活性化と移住促進につなげることが最も効果的と考えている。

農林業などの限られた分野にこの制度を活用することは、効果を検討する必要があるが、現在では考えていない。

### ヤングケアラーについて

**問** 県内の18歳未満のケアラーは23%いるとの報告があるが、本市のヤングケアラーの現状は。

**答** ヤングケアラーは、家庭内での役割分担として認識されるなど、本人に自覚がない場合や相談しにくい状況にあり詳細を把握できていない。

実態把握や支援については、毎月開催の生活困窮者支援調整会議などで関係機関と連携し、情報収集や課題共有に努めていく。

また、ヤングケアラーに関する考え方にについて啓発を図り、早期発見、早期支援に取り組んでいく。



成田 哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分

#### 質問した項目

- 移住コンシェルジュについて
- 新型コロナウイルスについて
- 地域医療の課題について
- 地域づくりミーティングについて
- ヤングケアラーについて
- 農業資材の高騰について
- 大湯地区における時報について



録画配信はこちらから